

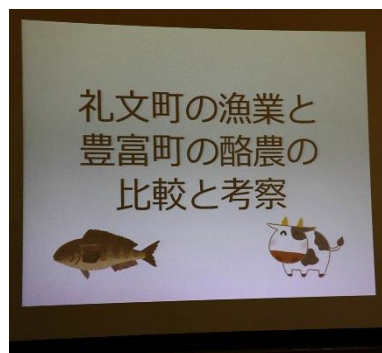
ふるさとに学び、
ふるさとを思い、語る。

校内礼文学発表会

今年度の校内礼文学発表会が9日、香中体育館にて行われました。それぞれの学年が1学期前半の「礼文学」で活動した成果を、工夫を凝らして発表し、礼文の魅力や現状について全校で改めて学び合う場となりました。

1年生は高山植物や礼文の景勝地、特産のホッケを使った調理体験を紹介すると共に、町の良いところや課題について発表。2班に分かれてのポスターセッションという手法で、聞いている人たちと上手にやり取りしながら、堂々と学習のまとめを報告してくれました。

2年生は1泊2日の酪農体験を中心に紹介。昨年の学習と関連付けながら、酪農と漁業の違いや共通点についてもよく考察し、整理された発表でした。産業と町づくりといった視点からの提言もあり、早くから見通しをもって取り組んできた成果がうかがえる充実した内容でした。



3年生は修学旅行での観光大使活動と、企業訪問を中心に報告しました。実際の観光大使活動の様子を寸劇で再現したり、訪問した企業の概要等についてクイズ形式で紹介したりと、聞く側を飽きさせない工夫が随所に盛り込まれた発表でした。



十代の感性を
語る。感じる。

礼文町
少年の主張大会

礼文町の少年の主張大会が2日、船泊中を会場に行われました。香中からは5月に行われた校内主張大会での上位入賞者4名が学校代表として出場。審査の結果、1名が7月に稚内市で行われる管内大会への礼文町代表に選ばれました。

【礼文町少年の主張大会 香深中からの入賞者】

最優秀賞 3年 鈴木 新「大切な贈り物」…管内大会への礼文町代表に選出

優秀賞 3年 鈴木仁愛「報われる努力」

優良賞 3年 西 隆生「尊敬する友だち」 1年 鈴木 佑「すばらしきかな努力」



ガンバレ小学生 香中生も応援に行きます



6月の訪れとともに、小学校の児童会がいつも運動会のポスターを手に香中へ宣伝に来てくれます。

今年の香小・礼小の運動会は18日の予定。礼小は完成したての富士見ヶ丘グラウンドでの開催となります。部活動の合間を縫って、香中生も応援と手伝いに出かけます。



全校生で旗づくり。
8月の体育祭に向け、
縦割り班活動が
始まりました。



校内
点描



今年度は425名の方に
募金をしていただきました。

お預かりした御厚志は総額で
240,230円
となりました。

地域みなさま、
ご協力ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました
皆様の御厚志を届けてきました



新しくなった
富士見ヶ丘の
グラウンドに、
軽くて使いやすい
トンボが届きました。

地域の方の手作りです。
大いに活用させていただきます



水無月の「無」は「ない」という意味でなく、「〜の」という助詞である。つまり水無月は「水の月」。梅雨時と重なる6月らしい呼び名に感心させられることしきりである▼この時期の北海道は、雨というよりは寒さの印象が強い。「リラ冷え」という言葉を今の中学生はどのくらい知っているだろう▼リラとはライラックのフランスでの呼称。花の季節と夏待つ寒さを重ねた「リラ冷え」：高山植物が咲き誇る礼文ならば、どんな表現になるだろう。ところ変われば気候もまた様々。その土地ならではの天気を表す言葉には、何とも言えぬ味わいがあるものだ▼6月の礼文はスツキリと晴れぬ日が多い。南寄りの風が吹こうものなら、船泊はともかく香深は大抵、海霧に包まれる▼さて、「海霧」の字を見て香中生は何と読むだろう。「うみぎり」「かいむ」と読んだ子は漢字のテストで点数が取れそうだ。「じり」と読んだ子は、北海道の浜っ子として地域に愛されること間違いなし。方言だろうと侮るなかれ。俳句の世界では立派な夏の季語である。ちなみに「ガス」と読んだ子は：想像力は合格点だけど、漢字はもうひと頑張りかな▼今年は珍しく雨続きだったこの週間。「蝦夷梅雨」とまではいかないが、「水の月」らしい6月の幕開けとなった。今週から衣替えを始めた香中生。ワイシャツもセーラーも、眩しい白に着替えたらいよいよ夏本番だ。ライラックの花言葉は「友情」と「謙虚」。短い夏を思い出にする、素敵なヒントには思えないかな？

